

## ■ 港湾交通対策特別委員会中間報告 要旨

### (1) 姫川港貨物取扱い急増に伴う整備計画の早期完成と次期計画の調査と整備推進

委員からは、姫川港についての予算が前年度に比べ減額となっていることについて質疑があり、22年度については公共事業費の中でも地方港湾に対する厳しい予算付けがなされているが、その中でも姫川港は比較的予算確保されたと認識しているとの答弁があった。

### (2) 一般国道8号糸魚川東バイパス梶屋敷～押上間の早期完成と間脇～梶屋敷間の調査

国道8号糸魚川東バイパス大和川～梶屋敷間開通後の状況について、現道の交通量が2割減少し、バスの定時時間が確保されたとの報告があった。

委員からは、今後の押上～大和川間の開通について、目標の26年度までの完成に向け、もう少し危機感を持ってあたってほしいとの要望が出された。

### (3) 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路市内区間の整備区間への昇格

委員から、新塩の道構想の発展と交流人口の拡大も含めて新たなプランニングを出して国に要望していくような検討はしているかとの質疑に、白馬アルプスゴールドルートや塩の道の交流等についても説明しているが、なかなか決まらない。新政権の中で民主党のルールに沿って対応していかなければならないこともあり、要望については長野県側と調整しているとの答弁があった。

### (4) 北陸新幹線開業に伴う並行在来線の調査、研究と大系線の活性化調査

第3セクター設立に関する出資金についての議論が多くあった。

上越市、妙高市は6月議会で議案を上程するが、糸魚川市長の補正予算対応についての考えはどうかとの質疑に対し、糸魚川市ではあくまでも議会あるいは市民への説明をした後でないと上程は難しいと考えている。まず県から資料提示と説明をもらいたいということであるとの答弁があった。

また、開業までに20億から30億円の費用が見込まれることや、そのほとんどが人件費にあたることを踏まえて行政としてこれまで対応してきたのかとの質疑に対しては、当初1年限りということと話があり、その後開業までの5年間の費用として25億円ほどという話が出てきた。しかし、当初の1年とその後話は別ということで協議をしてきた。その後の負担については今後協議すべき話だと考えているとの答弁があった。

委員からは、今の段階で第3セクターを設立するのではなく、第3セクター会社設立準備委員会にして、知事のいう第4セクターの出資者を募り、来年6月に正式発足してはどうかという意見も出された。

### (5) 北陸新幹線建設促進と駅周辺整備の推進

駅前広場に面している階段下の利用は何か考えているかとの質疑に、北口駅前広場へ降りていく階段の下については、公衆トイレと広場のバス停のバス待ちをするお客さんが休めるような待合室の設置を考えているとの答弁があった。

## ■ 糸魚川市一般廃棄物最終処分場調査対策特別委員会中間報告 要旨

### 1 委員会開催経緯

昨年9月9日の中間報告以来、特別委員会を3回開催。

### 2 第8回特別委員会(4月8日)審査報告 抜粋

市から、第7回特別委員会(平成21年11月12日)以降の経過報告があり、最終処分場の応急対策工事である周辺道路舗装工事について概要説明を受け、引き続き、調査業務委託を請負っている(財)日本環境衛生センターから最終処分場の現状と調査結果について説明を受けた。

#### 特別委員会の審査では、

市から、調査結果は、処分場内における水銀汚染については、特に心配はないものの地下水の状況をはじめ、いくつかの課題が指摘されたとのことであり、現在の処分場については、これ以上、埋立てを継続することは困難であるとの見解が示され、この調査結果を踏まえ、今年度は現処分場について、引き続き調査と解析を行い、それを基に恒久対策を検討するとの報告を受けた。

委員から、現在の処分場は地すべり地帯であり、かつ、排水処理施設がなく有害物質についても調整できない。また、側溝の土砂上げ等の掃除を怠っているため周辺の水が流れ込み、汚染された水が施設の外に流れ出ている、行政側の管理に問題があるのではないか。施設管理責任について、どのように考えているのか。当面の対応策とこの施設を含め、最終処分場をどのようにするのか、中長期的計画についても、是非検討願いたい、との質疑に対し、市からは、管理体制については、職員を2人増員し、現在4人体制で、清掃、その他の管理を行っている。なお、指摘されている問題については、慎重に対応するべく適正化に向けて、詳細結果を踏まえ実質的な安全対策を講じたい。また、今後の処分場については、現処分場の安全対策を万全なものにし、新たな施設も検討しながら財源も考慮にいれ、早急に結論を出したいとの答弁があった。

また、委員からは、保有水が多く水処理が悪いだけに、地元民を安心させるためにも調整池を早急に設置して欲しいと思うが、との意見に対し、市からは、応急対策工事では、排水管も設置しており、その効果を見ながら調査結果を踏まえ、適正な調整池を設置する必要があるとの答弁があった。

その他、活発な議論が交わされた。